

分類	頁	ご意見（要旨）	町の考え方
基本計画（案）			
全般	—	基本計画にSDGsの説明が必要である。	基本計画にSDGsの説明を追記致します。
	—	数値目標の考え方を、各項目の基本方針の最後に記述すべき。数値に重みが増し理解度が深まる。	各数値目標は、直近の動向から設定したもの、他の計画に掲げる数値の時点修正等により設定したもの、10次の総合計画期間中に未達成が見込まれるものを継続設定したものなど様々であり、算出方法もそれぞれです。そのため、基本計画に個々の考え方を記載することは困難です。 なお、基本計画に掲げた数値目標は、基本方針に基づく各種施策を実施することによる効果の検証及び可視化を目的に指標を設定しています。設定に際しては数値化可能なものとし、目標年度がゴールではなく、目指す通過点としております。
	—	基本方針の記述を統一すべき。①、②と記述したり、「・」「○」で記述している。	統一致します。
(2) — (ii) 社会教育の充実	8	時代の流れの中で婦人会員の減少が年々進んでおり各地区も婦人会の維持が困難となっております。「ともに学び・つながり 互いを認めあうまち」の基本目標で「社会教育に充実」が掲げられております。今後とも岩美町連合婦人会への激励と応援をいただきますようよろしくお願いいたします。	連合婦人会の皆さまをはじめ、各種団体等との協働により、社会教育の充実に取り組みます。
(1) — (iii) 安全で安心なまちづくり	3	津波が実際に発生した場合、沿岸部の住民の多くは避難が困難となり被害が大きくなると推測する。防災対策として次のことを調査・検討することを提案する。 ①ドローンを活用して入江等の陸地、海底の解析と津波がどのように押し寄せるか想定動画を作成し防災対策に活用 ②津波に強い円筒型避難タワーを建設 ③避難シュエルターや避難カプセルの活用 また、②については、展望室、水産アカデミー、移住者向け分譲・賃貸マンションなどを設置し、観光スポットとすることで、移住促進、雇用創出、地域活性化等の多くの効果が期待できる。	鳥取県が予測した本町の最大津波は4.9m、最短7分となっております。 本町ではこの予測に従って津波ハザードマップを作成し、避難周知を図っております。 また、各地域が近くの津波の影響のない一時避難所を設定しており、そこに避難していただくこととなっていることから、避難タワーやシュエルター等の特別な施設の整備について現時点では考えておりません。
(2) — (i) 学校教育の充実	7	“岩美高校への支援”は具体的な施策と、岩美高の存続がもたらす好循環も記載すべき。 町の総合計画も総合戦略も“岩美高等学校が目指す魅力化への取組を支援します”のみであり、「殿様火の用心、足軽火の用心」にならないためにも具体的戦略が必要。また、岩美町民は岩美高校の廃校に関する危機感が希薄であるので、存続の好循環も含め記載すべき。 言い換えれば、岩美高校を岩美町の活性化に積極的に取り込む姿勢を示すべき。	基本計画では、個別の具体的な施策ではなく、取組の方向性を記載することを基本としております。 なお、町内に岩美高校を残そうという町民の機運の醸成につなげる取組を計画しております。

第11次岩美町総合計画 パブリックコメントについて

分類	頁	ご意見（要旨）	町の考え方
(4) — (iv) 商工業 の振興	20	<p>“商工業の振興”に企業誘致への取組みを明記すべき。企業誘致は人口減少対策の最大の武器。非常に困難な課題であることは言うまでもないが、だから何もしないのではなく、そのことを常に念頭に活動・行動する姿勢が肝要である。そのためにも企業誘致の取組みを明記のこと。</p>	<p>企業誘致の取組については、用地の情報整理等により新たな新增設を計画する企業等の支援に努めることを記載しています。また、「企業立地の促進」と記載させていただきましたが包括的に誘致活動も含んだ記載とさせていただきます。</p>
(5) — (iv) 環境に やさしい まちづくり	25	<p>“環境にやさしいまちづくり”に、脱炭素化の推進計画を策定することを明記のこと。そのことが先進的取組みを実践する岩美町の姿に映り、“住み続けたい岩美町”の端緒となる。環境省の脱炭素見える化（令和4年1月30日発表：個人CO2削減見える化等）等を参照に、精度高い“環境にやさしいまちづくり”の実践の糧とするべきである。</p>	<p>基本計画では、個別の具体的な施策ではなく、取組の方向性を記載することを基本としております。 脱炭素化の推進計画策定は“環境にやさしいまちづくり”の実現に向けた一つの有効な方法と考えます。推進計画の策定について検討を行います。</p>
その他	—	<p>基本構想に“はじめに”が必要であり、総合計画の目的・役割・つながり、また、策定の経緯や体制を記載すべき。町職員の内輪だけが分かるからよいという閉鎖的な内輪論ではなく、町民目線で総合計画の意図が分かるようにすべき。現に第10次計画はその記載がある。</p>	<p>パブリックコメントでは、町が策定しようとする計画について広く公表し、ご意見を受けて必要な見直しを行うとともにご意見に対する町の考え方を公表しております。</p>
	—	<p>基本構想に、人口が減るとなぜ町民が困るのか論理的に記載のこと（第10次計画でも指摘があり追記している）。町民は人口が減少する事による危機感を理解・認識することで、町民自身が総合計画を実践・推進する醸成を生み出すものである。その情報を提供することが肝要である。</p>	<p>パブリックコメント募集に際し、計画の役割・つながりの説明が不足しておりますが、計画策定の経緯や体制にとらわれることなく、計画内容についてご意見を伺うものとしております。 なお、第10次総合計画の進捗状況及び町民アンケート結果などについては、第11次総合計画公表時にあわせて行うこととしております。</p>
	—	<p>第10次総合計画の総括（進捗状況・課題整理）が確認できない状況でのパブコメは、町民が10次総合計画の良さ・悪さ加減を把握できなく、町民からの意見が品質低下に繋がる。総括資料を添付すべき。</p>	
	—	<p>第11次総合計画と他の戦略（分野別計画）の関連性を明記すればそのつながりが明瞭になり、総合計画実践をより確実に推進する礎となる。総合計画が絵に描いた餅にならないためにも。</p>	<p>パブリックコメント募集に際し、説明が不足しております。計画策定後の広報等での周知の際に説明を追加致します。</p>